

報 告 書

2015年 3 月 13 日

望月 厚司 様

議員名 佐藤 成子

下記のとおり、政務活動費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2015年3月7日（土）	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	明治大学経営学部公開講座 社会的投資・CSR フォーラム
	(2) 対 応 者	明治大学経営学部 公共経営・社会戦略研究所
3 目 的	日本のNPO活動が最も弱点としている活動資金の部分で、一番将来性があるのが、SIB(ソーシャルインパクトボンド)だと考えられるとの事で、北大路信郷明治大学教授に誘われ、社会的投資・CSRを学んでみように参加する。	
4 内 容	<p>(調査事項・調査結果を具体的に)</p> <p>第一部 「イギリスにおける社会的インパクト投資の動向～ソーシャルインパクトボンドを中心に～」(同時通訳)</p> <p>金融の仕組みを活用し、社会課題解決のための社会的プログラムの運営資金を税金からではなく、民間投資家(社会的投資家)から調達するスキームが、SIBである。英国では17件以上。アメリカでも5件以上が組織されている。</p> <p>再犯防止・貧困家庭の児童の早期教育・若年者の非行防止・ホームレス支援などがそれである。</p> <p>第2部 社会的インパクトをビジネスの主流に組み込むことができるか</p> <p>題3部 学生セッション・企業家育成を通じた被災地復興の可能性～石巻市の事例～</p> <p>企業の社会的責任、メセナやフィランソロフィーは聞いたことがあるが、SIBの概念は知らなかった。そしてCSRは、持続可能な社会を目指すために企業も責任を持つべきであるという考え方だ。</p>	

5 成果・市政への反映等	NPO活動の資金不足に何が必要かを知りたいと思ったが、少し角度が異なった。企業のCSR活動は、社会に対する利益還元として、法令順守・商品、サービスの提供・地球環境の保護などなど、だったが、近年は、従業員の在り方、従業員自体の品質向上まで進んでいる。利益を上げつつ、いかに貢献できていくかが問題だ。今後、官の仕事を、民が担っていく時代になっていく。学生さんたちの、資格を取らせたりや技術を教えて、仕事にしていく支援や学力のサポートなど、実際静岡でも行われていることがありびっくりした。さらに学び、社会課題解決のための社会的プログラムを探したい。
--------------	---